

農業、6次産業化、食育・教育

農業の新たな価値創造（無価値の価値化）

活動の経緯

平成29年度より、飯綱町でのりんご栽培と古民家農家民宿の運営に加え、令和4年度に東御市のワイナリーと合併したことを契機に、6次加工体験ツアーリズム（農業+加工体験）による世代や地域を超えた農山村の潜在価値・魅力の発信に取り組む。

活動の概要

東信から北信を跨ぐ広域ワインツアーリズム、小学生から大学生までの農泊体験受け入れを行い、子どもたちの自然・五感教育と6次加工ツアーリズムの将来性・可能性に注力する。



守り継ぎたい日本の原風景古民家のらのら



子どもたちの五感・自然教育の一場面

活動の成果、主な実績等

○関係人口創出に向け、古民家を基点に4つのアプローチで農泊体験・イベントを実施。動員数は平成30年度の20人から令和4年度の375人へ増加。

①農×醸造＝農醸：千曲川ワインバレー広域ワインツアーリズム・信州Sakeカントリーツアーリズム（ワイン葡萄畑での作業体験、古民家でのメーカーズディナー、りんご畑での作業体験など）。

②農×芸術＝農芸：農の空間をアートシーンに見立て、りんご畑でのバレエ舞踏会、摘果りんごや葡萄の剪定枝を花材にリース作りなど。

③農×スポーツ＝農スポ：いろいろなシールドランや東御ワイナリー巡りランなど。

④農×教育＝農育：小学生から成人まで様々な世代の農泊体験を受け入れ、実際に農作業した農産物を加工する職業体験を実現。（総合的SDGs教育）。小学生や親子向けでは、里山アドベンチャーを開催。